



神秘の領域「潜在意識」へようこそ！



信念
↓
感情
↓
体

演習：スキャンニングによる制限部位の特定



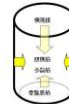
身体に聴き大まかな部位が特定できた状態から、頭蓋の吸気相に合わせて1次呼吸を停止させる。その状態でもう片方の手を体から数cm離れた部位で制限部位をまんべんなくたどる。すると、頭蓋の吸気相がなくなりしほむところがある。そこがプライマリーな制限部位である

なぜ潜在意識が根本原因になり得るのか？

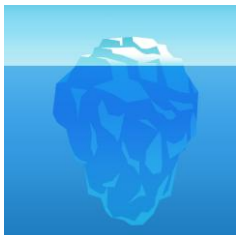
潜在意識

→ 感情

→ 自律神経

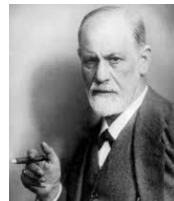


そもそも潜在意識とは？



- ・ジークムント・フロイト先生により提唱されたもの。意識出来ない意識の領域のこと。
- ・90%は潜在意識であると考えられている。
- ・これまでのことを全て記憶している
- ・時間の概念は存在しない
- ・潜在意識に従って私達は選択をしている

潜在意識に関するフロイトの言葉



- ・我々は付き合う人を無作為に選んでいる訳ではない。潜在意識の中にすでに存在している人を選んでるのだ
- ・精神は氷山のようなものだ。それは7分の1だけを氷上にだして浮かんでいる
- ・インスピレーションが浮かんでこなければ自ら迎えに行くまでだ
- ・人間は意識を飛び越えて、潜在意識同士で他者と通じ合う事がある
- ・いつも自分の外側に自信の源を探してきた。でも、本当は自分の内側にあるものです。自分の中にしかありません。

潜在意識が根本的原因となるメカニズム

感情は出来事で左右される訳ではない

ある出来事はAさんにとっては、とてもストレスになるようなことでも、Bさんにとってはどうでもよいことだったりする。つまり出来事は感情の決定要因ではない！！みんな出来事が決定要因だと思っているから現実を変えようとする（例えば職場。だけど、変えた所で結局同じことの繰り返しというのはよく聞く話

死という出来事ですら解釈（感情）は違う！！

- ・キリスト教：原罪と信仰していれば永遠の生
- ・ユダヤ教：土に帰る
- ・イスラム教：神のために聖戦で死ねば天国へ
- ・ヒンドゥー教：輪廻転生
- ・仏教：輪廻転生と解脱
- ・神道：人は神（自然）から生まれて神（自然）へかえる。ご先祖様として神となり次の世代を見守る

だったら感情どうやって決まっているのか??

やっぱり私達の基本は解剖学！！
感情の解剖学：その名もABC理論

A : Activating event B : Belief C : Consequence

Aは出来事 Bは信念 Cは結果 を示している。ふつうは出来事が結果をつくらせて信じている。しかし、本当はそうではなくて、**出来事に意味づけをする信念**によって、結果はどうとも変わるのである。多くの人は感情をコントロールしようとするから上手くいかないのかもしれない。

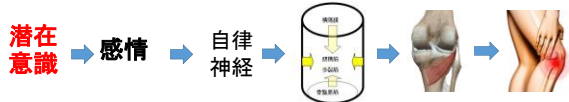
世界三大心理療法家：アルバートエリス先生

- ・出来事が悩みを作るのではなく、その出来事に対する自分の信念の偏りが悩みを作るのである
- ・性格は変えられない。それでも、人生は変えられる
- ・過去に囚われるばかりでは、あなたは変わらない。今の、そしてこれからの幸せはあなた自身が作るのです
- ・科学は絶対に神聖なものでもないけれども、確かに大きな価値がある。目的や意図を持った時には、科学的な姿勢を保とうとするのがよい。つまり、仮説検証を繰り返し、社会的・物質的「現実」は暫定的に認め、人間そして人間以外の生物にとっての善を目的とすることである
- ・完全により近い自己実現は可能でも、完全に完結的な自己実現はありえない

信念→感情→行動 信念は感情・人生でさえも決定つける

ある人がへびをみました。その人にとってへびは怖いという信念であれば恐怖の感情が湧いてくる。お金儲けの道具と思えば喜びの感情が湧いてくる。このように、どんな信念をもっているかで、感情が変わってくる。感情が変われば行動も変わってしまう。つまり人生そのものが変わってしまうのだ！

感情を決定つける信念こそ本質的原因となる



結局のところ、人は信念により動かされている。感情が自律神経を介して体に影響するように、感情を左右するのは信念である。つまり、ストレスの根本的な原因を解決しようとすれば信念をリリースする必要がある。信念のリリースを伴わない感情のリリースはまだ対症療法にすぎない。

信念ができるメカニズム

繰り返す現実 裏で操る潜在意識



人は潜在意識が強く望んでいるように現実の世界を構築している。物質が優先ではなく想いが先行している。だから、ネガティブで偏った信念を持っていると、その通りに現実を構成する。自分の意識とは関係なく。

そもそも信念はどうやって根付くのか？



偶然の出来事の繰り返しによりつくられる。だから意味は・・・まったくない！！偶然の副産物にすぎないのだ！そして大切なことは、全ての信念は必ず「外部」から影響されて根付くということである。自分自身で勝手に制限のある信念を持つたりはしない。お前はバカだとか言われるから私はバカだと思ひ込んでしまう。知恵のある身体はわざわざそんなことはほしくないのだ！

偏った信念 制限された信念



- ・エリス博士は人生にネガティブな影響をあたえる信念をイラショナルビリーフ（偏った信念）と呼んでいる
- ・「ねばならぬ主義」に陥ってしまうのは、人間が物事を誇大に考える傾向があるからです。人は誰でも幸せを願います。このため、「成功したい」という想いが、しばしば「絶対に成功しなければ」という義務感に飛躍したり、「あの人が好かれない」という願いが、「あの人は私を好きになるべきだ」という思い込みになったり、「快適な暮らしができればいいのに」という思いから、「そうでなければいけない」という結論に飛躍してしまうのです
- ＊性格は変えられない、それでも人生は縛られる

P18

偏った信念：高いところは死ぬことと繋がる



高いところから落ちて死んでしまうようなドラマとかを幼少期に見て、それが強烈だった場合「高いところは死ぬことと繋がる」という信念が根付いても不思議ではない。また、幼少期にベッドから何度も落ちて痛みをとまもっていてもあり得る。高い所にいくとストレスを感じて体に変化はあるが、平地で暮らせれば健康を害することはない

偏った信念：病気の方が幸せである



例えば、病気の時にいつも忙しい両親が仕事を休んでくれたり構ってくれたりすれば「病気の方が幸せ」と考えてもおかしくはない。しかし、その信念があまりにも強ければ常に病気を繰り返す人生をおくる・・・

偏った信念：人は信頼してはいけない



例えば、「人は信頼してはいけない」という信念が強ければ、集団での職場では対人ストレスの影響をつよくうけるだろう。その結果、職場を変えたとしても結局また同じことの繰り返しとなる。そして、多くの場合孤独を感じたり、周囲から距離をとったり嫌われたりして、対人ストレスで慢性的に不健康な人生を送る・・・

偏った信念：お金儲けは悪いことである



お金持ちは悪い事をしている、質素な人生こそ美しいなどと幼少期にあまりに親や周囲から刷り込まれると、大人になってもお金を稼ぐことに対して罪悪感を覚える。開業してお金をもらう時にイチイチストレスを感じていたら不健康になるし稼ぎも増えない。そもそも、独立して開業しようとする人が少ないのも原因はここにあるのかもしれない

偏った信念：この世は不幸 世界はどんどん悪くなっている



はつきり言ってこれもウソであるし思い込みであり、刷り込まれた信念である。世界は人類史上最も平和であり貧困も少ない。にも関わらず、親が政府のせいにして生活は苦しくなるばかり・・・とかワイドショーの見過ぎでみんな世界は悪い方向に行っていると思いついてる。その結果、夢も希望も持たずに死んだように生活している人の数々・・・早く死にたいと思う社会にいつの間になくなってしまっている

信念の多くは幼少期に作られる



おかさんは僕より仕事が大変なんだ。僕は愛されない存在なんだ。私は重要な人間ではないんだ・・・



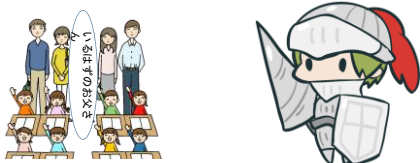
信念の多くは、幼少期の親との関係で作られる。なぜなら、**信念とはそうであると強く信じる心**であるからである。親との関係が世界の大半である幼少期に親から信念の影響を受けるのは当然である。**但し、両親にも非はないことは忘れずに！**

無力な子供は愛をもとめる（しかない）



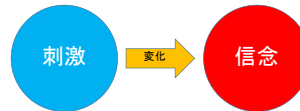
子供にとって親に愛されないということは、死を意味する。だから無力な子供にとって親は絶対的な存在である。親がバカな子ね！と言えればバカになる。無力な幼少期の子供には選択肢はあまりに少なく、あまりに狭い世界で生きているから偏った信念が根付くも仕方ない

その時は必要である信念



例えば、親と約束していてその約束を親が仕事で果たせなかったら、子供は「人は信頼してはいけない」と思うかもしれない。そう思わないと、100%愛されるはずの存在である私にそんなことがあつたら心が大きく傷ついてしまう。だから、そういうもので仕方ないと思い込んで自分の心を守る。この当時は無力であるので、こう思い込むところが最良の選択であると潜在意識は判断している。**潜在意識はどんな形であなたにあなたの幸せを願っているのだ！**

信念は外から作られる。潜在意識は常に幸せを望んでいる



信念はその人の勝手な思い込みであるが、決してその人が悪い訳ではない。必ず外部から影響されている。人は常に良い方に、幸せになるように歩いている。だから、自分ではマイナスになるような信念はわざわざ作らないし、いつでも軌道修正可能である。ただ子供時代（その当時）が無力なだけだったのだ！

可能性を知ることによって可能性は広がる 新しい靴をはいて出かけよう！



ただ大人になったら世界を知る。力もあるし経済力もある。自分のことを信頼してくれる仲間も恋人もできる。世界の広さをしり可能性を知り、理想の人生を思い描きそれを実現することさえできる。子供のころに着ていた窮屈な靴も服ももういらぬ。新しい靴をはいて自分の人生を展開できるのだ！そのために信念のリリースは大きな役に立つ！！

夢をかなえてドラえもん（潜在意識）



心の中いつもいつもえがいてる 夢をのせた自分だけの世界地図(タケコプター)
空を飛んで時間を越えて遠い国でも ドアをあけてほら行きたいよ 今すぐどこでもドア)
大人になったら忘れちゃうのかな?そんな時には思い出してみよう
Shalalalala 僕の心に いつまでもかがやく夢 ドラえもんそのポケットでかなえさせてね
やりたいこと行きたい場所 見つけたら 迷わないで靴を履いて出かけよう (タイムマシン)
大丈夫さひとりじゃない僕がいるから
キラキラ輝く宝物探そうよ 四次元(よじげん)ポケット
道に迷っても泣かないでいいよ
秘密の道具で助けてあげるよ

信念のリリースに必要な信念

そもそも信念とはなにか？



それが正しいと強く信じ込んでいる心。物事に対する確信の心のこと。通常、この信念を変えることは難しいとみんな思い込んでいる

信念は物質ではない。心のエネルギーであり重力の制約も受けない



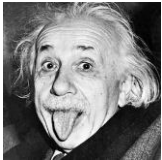
心の世界、エネルギーだけの世界に制限など存在しえない。可能性は無限に広がっている。重力の影響も受けずに、物質としても構成されていない信念をエネルギーリリースで変えるのはそう難しいことではない！！

どんな信念も簡単に変わる。というより固定化されるものは本質的に存在しえない。自発的対称性の破れ



- 信念とは、それが正しいと堅く信じ込んでいる心。物事に対する確信の心のこと。なので、そうじゃないよ！！って教えてあげればいい
- もしくは自分がそう思い込んでしまえばいい。要はその人が「勝手に」思い込んでいるだけなので、いつでも簡単に変えられる
- どんなに美しいものでも完璧と思えるものでも、いつかその形は崩れるし崩れてもいいのだ！それが日本の天才物理学者、南部陽一郎博士が導き出した法則である
- 例えば、とても変な恰好で自分が思い込んでいる信念を10回口にしてみる。

凝り固まった信念にリリースを！！



$$E=mc^2$$

エネルギーは物であり、物もまたエネルギーであるというのはE=Mc²で分かっている。つまり、どちらも同じということなのである。だから、筋とかのリリースも直接やろうがエネルギー的にやろうが効果は同じ。大切なことはココである！潜在意識はエネルギーである。だけど、物でもある。だから、硬く凝り固まることもある。だから、リリースすることも可能なのである。エネルギーも物も等価なのだから。

信念のリリースに必要な信念



信念はあくまで勝手な思い込みである。そうであるがゆえに、いつでも新しく勝手に思い込みなおすことができる

従って信念をリリースして変えるというのは呼吸をするのと同じくらい簡単なことである！！とまずは思い込んでみるのが信念のリリースに必要な信念である

そして呼吸は新しい酸素を取り込んで、古い老廃物（炭素）を吐き出しているという点にもご注目
身体でさえも常に新しく入れ替わっているのだ！

潜在意識の評価

潜在意識の評価



基本的には無意識の反応をとらないといけないということが前提。そのため評価方法としては大きくは2つ。MMTをとるか、YES、NO反応で聞くというのが最も簡単で分かりやすい方法である

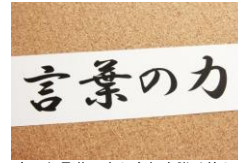
MMTに言葉の力を乗せる



「私は女性です」
 MMT強い：YESの反応
 MMT弱い：NOの反応

例えば、私は男性です。と言った時に、潜在意識が男性と思っていれば、YESの反応で筋力は強くなる。逆に潜在的に女性と思っていれば、筋力は弱くなる。これはあくまで無意識、潜在意識の反応なので、自分の意思で筋力をコントロールすることはできない。だからこの言葉をのせたMMTは潜在意識の評価に使えるのだ！

MMTに言霊の力を乗せる



驚くべきことに、紙に書いた言葉でさえも無意識は答えをみえてくれる。これはとても評価として有効。クライアントにも潜在意識の存在を知らせることができる。いずれにせよ、無意識に筋力が弱くなったり、強くなったりするところにご着目！自分の意思でコントロールできないから無意識、つまり潜在意識の評価となり得るのだ！

YES/NO 反応



「あなたは重要ではない存在ですか？」
 YESの反応：組織が沈み込んで柔らかくなる
 NOの反応：組織が反発して硬くなる

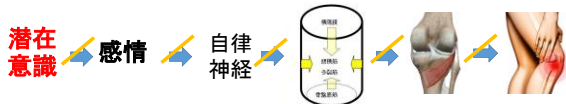
例えば、信念が特定できていれば「あなたは重要ではない」という信念は優先ですか？というように直接身体に聴くこともできる

I and because戦略 (IB戦略)



- ・クライアントに「私は〇〇が出来ません」「なぜなら・・・」と続けさせてきたものはその人特有の強い制限された信念である
- ・信念とはある意味理由でもある
- ・こうして出てきた信念をリリースしていくのはその人特有の問題を解決するのにとてもいい！
- ・驚くべきことにリリース後にこれらの信念は思い浮かばなくなっている

潜在意識のリリース後に生じる反応



通常、「私は重要ではない」などの核となるネガティブな信念をリリースすると、今度は私は重要であるなどの信念が強化される。なぜなら、我々の潜在意識がそう望んでいるからだ！！私は重要でありたいと思っていて、それをどっちでも思っているのなら、重要な人間だ！と思いがちなのが自然である。その結果、それに付随していた感情以下の組織への影響が全て変わる。だけど、その後にもまた同じ信念が根付くような出来事が続くとまた同じ信念が根付く。信念とは形が無いから変わるのも早いのだ！

制限された信念の特定方法

無数に存在する信念を特定する 2つの方法



1つはリストを作成し、それに基づいてYES・NO反応で絞り込んでいく方法。もう一つはその人自身に答えて教えてもらう方法。

自分では有限かもしれないが自分以外の偉大な力をにアクセスすれば無限である



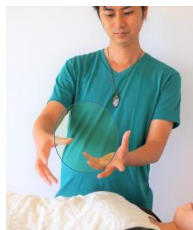
- 個人の顕在意識では限界はあつという間にくる。だけど、自分の潜在意識や他者の力環境資源（ネットとか）にアクセスしその力を使う事が出来れば顕在意識の限界など限界ではなくなる
- 自分以外の偉大な力を神と呼ぶのか、慣れ親しんだ名前と呼ぶのかは自由である
- そしてそれを恐れ忌み嫌うのか、ともに共存力をかりうけるのかも自由である

24のリミッティングビリーフ



- これを参考に制限となっている信念を特定していくのはとてもいい方法
- ある程度個性もカバーできる
- 「24のリミッティングビリーフ」でネット検索でも出てくる
- 潜在意識やトラウマの作られ方などもとても参考になる

演習：潜在意識リリースの実践！！



- 全身の健康を低下させている最も優先的な制限部位は？ときいて組織を特定
- その原因として最も優先的な感情は？
- その感情の原因としてもっとも優先的な信念は？と聞いて特定
- 最後にリリースしてもいいですか？YESならその組織ごと空間上にとり出してリリース
- 身体機能等の変化を確認する

《生存》に関するリミッティング・ビリーフ

- 存在してはいけない
- ありのままの自分であってはいけない
- 自分の性別であってはいけない
- 見えてはいけない
- 愛着を感じてはいけない

《人間関係》に関するリミッティング・ビリーフ

- 人に近づいてはいけない
- 人を信用してはいけない
- 集団に属してはいけない
- 感謝をしてはいけない

《成長》に関するリミッティング・ビリーフ

- 子どもであってはいけない
- 成長してはいけない
- セクシーになってはいけない
- 考えてはいけない
- 自分が考えたいように考えてはいけない
- 特定の事について考えてはいけない
- 自由に行動してはいけない（自分の人生を生きてはいけない）
- 親から離れてはいけない

《精神・身体》に関するリミッティング・ビリーフ

- 健康であってはいけない
- 正気であってはいけない
- 感じてはいけない
- 自分が感じたいように感じてはいけない
- 特定の感覚、感情を感じてはいけない
- 楽しんではいけない
- 幸せを感じてはいけない
- くつろいではいけない

《自己重要感》に関するリミッティング・ビリーフ

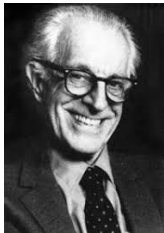
- 重要な存在であってはいけない（何がができる自分には価値があるが、）ありのままの自分には価値がない
- 強さがあってはいけない
- 成長してはいけない
- 成功を感じてはいけない

けど・・・ちょっと大変！！臨床でイチイチ紙なんてみてられないし・・・

心配ご無用！！

量子の世界（無限の可能性）に生きていれば、こういうふうに出て来たらいいなと思う事は何でもできるのです！！

もう一度エリス先生の知恵にアクセス



- なんと！！信念についてセラピーし続けた結果、結局のところ3つに集約されるというのをエリス先生は導き出されている！
- 凄すぎます！！
- 本当にありがとうございます！！

エリス博士の贈り物：究極のイラショナルピラー



- 私はどんなことがあっても絶対に立派にやりとげなければならない
- 私は私にとって重要な人々の是認を絶対にかちとらなければならない
- さもなければ私は社会的に不適格な人間である
- * そんな訳ありません！！

どんなことがあっても自分をみじめにしないためには
PB 7

エリス博士の贈り物：究極のイラショナルピラー



- あなたはどんな状況においても、私を公平に思いやりをもって遇さなければならない
- そして、私に不当に欲求不満を与えるべきではない
- さもなければ、あなたはどのような人間である
- * そんな訳ありません！！

エリス博士の贈り物：究極のイラショナルピラー



- 私が生きている状況は、私が望む通りのものを与えてくれなければならない
- そして、私にどんな害も及ばないようにすべきである
- さもなければ、私の人生は耐えられないもので、私は全く幸せになれない
- * そんな訳ありません！！

要約された3つの究極の制限される信念

- 私は他人が認める100%完璧な自分でなければならない。
- 人は100%私が望むように尽くさなければならない
- 周囲の環境は100%私が望むものを与えなければならない

要約された3つの究極の制限される信念

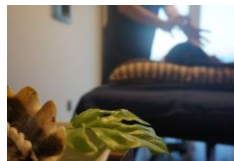
- 私は完璧でなければいけない
- 他人は私の思うように動かないといけない
- 私はいつでも幸せな状態でいられる

要は...

- ・自分は完璧でもないし、他人には他人の言い分があるし、人生はいつだって上手く行く訳じゃないっておもってればいいってこと

* だけど、それを信じられないのもまた人。もちろん私も...だからこそ流動的に時には偏って、だけどときにはリリースしてということが必要だと思っています。

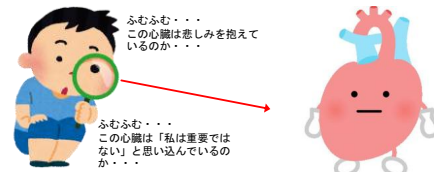
演習：要約された3つの信念を特定する



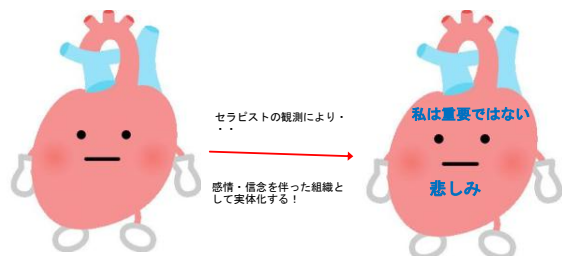
- ・核となる潜在意識を24のリストの中から5つ特定する。その後、要約された3つの信念を特定する。
- ・その信念をリリースして、最初に特定した5つの潜在意識にどのような変化があったか確認する
- ・すべてリリースされているかもしれないし、複数リリースされているかもしれない
- ・この3つが信念をつくる信念であることを理解する

潜在意識に対する理解を深める + @

なぜ、潜在意識や感情を取り出すことができるのか？



観測したからである。セラピストが観測したことによって、その対象組織（筋でも内臓でもなんでも）には感情と潜在意識のエネルギーが付加された対象物となって実体化している。なので、どの組織にどんな感情や潜在意識があるのかを特定すれば、あとはその対象物をリリースしてしまえばいいのである。観測したことにより、その対象物は制限をもたらししている感情や潜在意識を伴った対象物として実体化しているのである。



悲しみも信念さえも理解した上でリリースする



もう手放してもいいんだよ・・・



次の瞬間に全てが変わっているから・・・



なぜ、信念は時を超えていつまでも引き ずるのか？



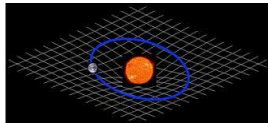
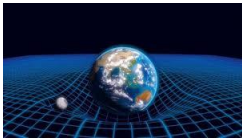
過去のトラウマなど何年も何年も引きずるのはどうしてだろうか？
これを知るには時間と空間。つまり時空についての理解が必要となってくる

時間は絶対ではない！？ アインシュタインの相対性理論



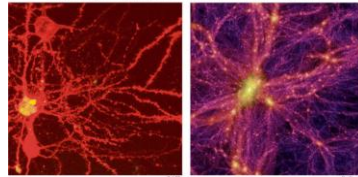
- ・アインシュタインによれば、時間は絶対でききなものではなく観測する立場によって早くなったり遅くなったりする
- ・つまり伸びたり縮んだりするのだ！
- ・まるで物質のように！！やはり $E=mc^2$ は本質をとらえているのだろう
- ・時間は絶対ではないというのは、我々にトラウマ治療のたくさんのアイデアをもたらす

空間もまた絶対ではなく歪むのである



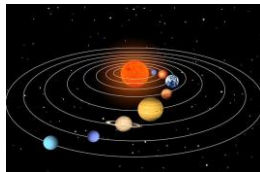
アインシュタインによれば、驚くべきことに相当な量の質量が加わると空間でさえも歪むという。この空間の歪みにより引力が働き地球は公転していると考えられている。

身体も宇宙も構造が全く似ている！？ ミクロとマクロは繋がっているのか！？



驚くべきことに、脳細胞と宇宙の構造はそっくりだという写真がある。左はネズミの脳細胞。右は宇宙の趣味レーション画像・・・そっくりすぎる！！

身体の中に存在する宇宙



さらに太陽系と原子核の配列もまさに宇宙そのものである。原子核が太陽で電子が地球と考えてみてはどうだろうか？実際にその距離の比率も極めて同じようになるという計算もあるらしい。加えて電子や原子そのものが自転しているというのも地球や惑星と何ら変わりないと考えてしまう！

身体の外側は宇宙であるという考え方



人における原子が太陽系の惑星であれば、宇宙空間は身体の外側となる。人がロケットで飛び出しているところは、私達の身体から数センチ離れたところであるといえる。

そして、この宇宙空間が歪む可能性があり、時間も歪む可能性があるのだ！

コラム：とりだすことの意味



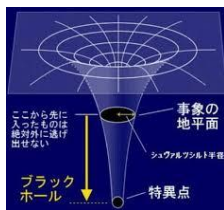
量子を体の外にとり出すということは体からすれば量子を宇宙にとりだされたということである。宇宙には重力の制約はなく、量子もより自由に動くことができる。つまり、（地球の重力の存在はどうしてもないが）新たなものになる可能性は大きく広がるのだ！

ここで、ブラックホール



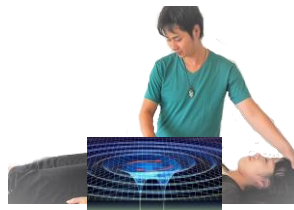
- ブラックホールの中心点は特異点とよばれ、我々の理解をはるかに超える超質量と超重力の集まりである
- このため、この中心に向かってものすごい引っ張る力が働き、この状態に入った人入ってしまうと光でさえも抜けることはできない
- つまり光よりも早い速度で引っ張る力が存在している
- このため、この周囲の空間ももちろん歪む時間も歪むと考えられている

時の停止：事象の地平面



- ブラックホールに落ちたものをもしめることが出来れば、その中心で永遠に止まっているようにみえる
- これは吸い込まれたものが、超高速で落ちていくので、外にいる止まっている人とのスピードの差が大きすぎて、止まってしまうようにみえる
- 逆に中の人はもの凄い早い時間の流れに身をおくことになる
- 中にいる人は死んでいるが外からみているひとからすると永遠に生きていることになる（ブラックホールパラドクス）

時を停止させるブラックホールは身体にも存在している！

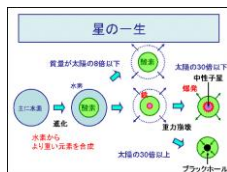


宇宙と脳細胞は似ている。そして、原子の周りを回る原子核と太陽系 同様な構造をしていることを思い出して欲しい

ミクロのものはマクロでも存在する。もし宇宙が体にも存在するのであれば当然ブラックホールも存在しえるだろう

そしてブラックホールの中心点は時が停止している

ブラックホールのでき方



- 様々な原子がぶつかり合った時に消えた質量で膨張するエネルギーを作っているが、それが失われた時にそれまで保っていたエネルギーが無くなり、一気に縮むエネルギーだけになってしまう
- この結果、星自体が持っていた重みに耐えきれず、自らの重みで圧縮されていく現象が起こる
- ブラックホールは星がエネルギーを使い果たした結果できる
- そして、それは質量の大きい星でないとブラックホールにはならない

体でのブラックホールのでき方



- 強いネガティブな感情を抱くときはたくさんの様々な感情が渦巻く。怒り、嫉妬、妬み、悲しみ、絶望など・・・ポジティブな感情と違いネガティブな感情の数が圧倒的に多いこともまた大切な点である
- 感情は自律神経の反応や行動、胸がもやもやなど様々な化学変化を起こす。その時に原子の衝突が起こりそれが激しすぎると重力の方がつよくなりブラックホールとなると考えている
- ブラックホールは星がエネルギーを使い果たした時にできる。体でも同じ。ネガティブな感情がどれだけエネルギーを使うのかは怒ったり悲しんだりした時の体の疲れ具合を考えればよく分かる
- イメージとしては、それまで必死にあらがっていたものが急にあきらめて虚無状態になったときにBRができていていると考える

ネガティブな潜在意識が時を超えてあり続けることのまとめ

- 時間は相対的である
- 空間も歪む
- ブラックホールの中心点では時は停止というか無限になっている
- 体にもブラックホールはできる
- 宇宙と体の構成はとても似ていて、体もまた宇宙である
- ネガティブな潜在意識は複雑な感情の結果できあがる
- さらにネガティブな感情はエネルギーを大量消費する
- 星はエネルギーを使い果たした時に急速に縮みブラックホールとなる
- 身体でも同じことが生じていると考えられる
- ブラックホールの特異点に集中している感情や信念はそこで停止し続けている

演習：何歳からこの潜在意識を引きずっているのかを訊ねる



- 根幹となる潜在意識を特定後に、この潜在意識は何歳から優先なのですか？に聴く
- そして、20歳以上？以下？10歳以上？以下？9？8？7？
- と聞いていきYESが出るまで聞き続ける
- ただし、何歳と特定したところでカウンセリングには役に立つがリリースには大して大事な情報ではない
- 望む未来に歩むためのリリースなので過去は関係ない
- 顕在意識で未来を決めるのだ！
- *過去をみつめることが未来にいい影響をあたえる
場合ももちろんある

リリースに深みを与えてくれる知識達

唯物論と唯心論



存在するもの全てが物質的だと考える唯物論。心こそ全ての根源と考える唯心論。どちらも「唯」という文字に代表されるように、とても制限された排他的な考え方であるという点では共通しているのかもしれない

物心論でも心物論でもいいんじゃないの？

$$E=mc^2$$

物はエネルギーであり、エネルギーもまた物であるので、心も物質も等価なものと考えてみてはどうだろうか？心も体も、見えるものも見えないものも大切にしてみようか？我々は自ら可能性を閉ざすような制限された思考にとらわれなくてもいいのだ！もちろん、そう望むのであればそれもいい。自由なのだ！！

とはいえ・・・物心よりも心物の方が速い！



- 心が先行した方が結果は早い
- 例えば、筋肉ムキムキになりたいと決めるからムキムキになる。ムキムキになったあとにそうなりたいとは思わない
- 家を建てたいと思うから家が建つ。たまには建売もあるが、それでは本当に欲しい家は手に入らないし、速がよいといつまでも家は手に入らないとしても非効率である
- この世は心先行なのだ！逆に物質先行で考える方が難しい
- だからリリースも構造的でもいいけど、エネルギーでやった方が速い！構造をリリースするよりも信念をリリースした方が速い
- 心・エネルギー先行というのは当然というかその逆はとても非効率というか逆かわざわざ道をたどっている気さえする

究極において無限の可能性を与えるセラピーを目指している



- 健康な人生を選択しても、病気の人生を選択しても、お金や人間関係に豊かな人生を歩んでも、質素を美德とつつましく自分を抑えこんだ人生を歩んでも・・・
- その人が顕在意識で望んだ人生であればきっと幸せだろう。
- ただし、そこに偏った信念があれば、大きなバイアスとなってしまう
- あくまで公平でニュートラルに人生を選択する自由を与えるお手伝いをしたいと願っているのです

エントロピーの法則



- 物質はエネルギーの付加された状態であれば秩序を保ち続けるが、そうでない場合は混沌（無秩序）へと向かうという自然法則。
- 秩序を保つ（想いを形にする）ためには、そういう情報をだれかが与え続けなければならない
- これはセラピーにも同じことが言える
- つまり、本人を含む誰かがよくなって欲しい、よくなりたいという想いをもちつ付けていれば、それは秩序をもった形として叶うが、そうでない場合は実体化はしない
- 無理やりセラピーに連れてこられた人がよくなるのはそのためである

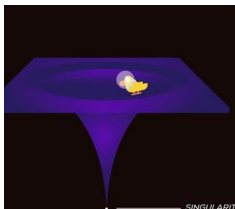
リリース後に観測を続ける意味



- リリース後に組織が変化していく様を観測し続けることは、よくなって欲しいというエネルギーを与え続けていることに等しい
- よって、治癒には絶対的に必要な時間である
- この時の観測をセラピストがやめしまうと、エントロピーは増大し無秩序なものとなる
- つまり、知恵のある身体は治癒への道のりを途中でやめてしまう

ここで再びブラックホール

ブラックホールの最下層はどうなっているのか？



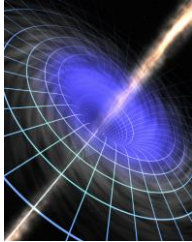
- 特異点と呼ばれている
- すべてのものは素粒子レベルに分解され超高密度で圧縮されている
- 以前は、すごい重力と質量の圧縮なので、光・素粒子でさえも動く事ができずにすべての活動は停止していると考えられていた
- しかし・・・それに異を唱える現代の天才物理学者がいた！！

車いすの天才！ホーキング博士



- 相対性理論と量子力学を組み合わせることでブラックホールの謎に迫った。
- その結果導かれた数式からはブラックホールの中心からはわずかではあるが熱が放出されている可能性があることを指摘
- 素粒子さえも動けないような特異点でどうやって熱を放出しているのか？
- 熱を発生させるためには粒子の運動が不可欠なはずだ！

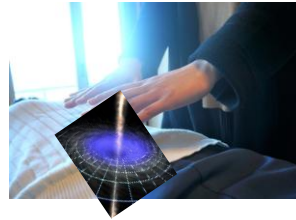
特異点は異次元となり熱を産生していた



- ・今では特異点では異次元の空間がヒモのようなものがあつまり膜のようにいくつも重なり合っているため高密度に圧縮されていると考えられている
- ・そのため、その折り重なった膜を素粒子が行き来できると考えられている
- ・いずれにせよ、ブラックホールは熱を放射しており、それはエネルギーである。エネルギーを放射しているということは質量を失っているということなのでいつか蒸発する

・永遠ではないのだ！

感情・信念部位に確認される身体の熱感の正体



- ・ブラックホールの中心から熱が放出されている
- ・もし身体が宇宙と同じ構造でありブラックホールも存在しえるのなら・・・
- ・身体で観察されるプライマリーな感情や潜在意識を特定した部位で感じるわずかな熱感の正体はそれであるのかもしれない

演習：膜宇宙による制限部位の特定方法



- ・宇宙空間は1つの膜のようなものであり、強大な質量により垂む性質をもっている
- ・これは、身体外側数cmに存在する体の宇宙にも当てはめることができる
- ・従って、身体宇宙を膜という概念で観測することができれば、セラピストの手は最も質量の重い点（プライマリーな原因部位）へと自然に引き込まれていく
- ・そして、そこからは必ず熱感が感じ取られる。

演習：身体ブラックホールの評価特徴



- ・先に特定した制限部位からさらに一指し指一本で特定できる特異点を探す
- ・これはスキッピングの技法をつかうといい
- ・その部位（特異点）は、どの方向にも筋膜が滑走しないという特徴をもっている
- ・さらに、この部位を圧縮するとすべての一次呼吸メカニズムが停止してしまうのも特徴である
- ・それが特定できたらいいよ、体ブラックホールのリリースである

ビッグバン：爆発のエネルギーは新しいものを生み出す



$$E=mc^2$$

地球を含む現在の宇宙は、126億年まえに生じたビッグバンの際の放出されたとんでもないエネルギーが質量へと変わってできたと考えられている。爆発によるエネルギーは新しいものを生み出すのだ！

体のブラックホールをリリースするとどうなるのか？



- 1.星がエネルギーを使い果たしブラックホールができる
- 1.質量を失いながら熱を放射
- 1.質量がある程度失われると、一気にエネルギーを放射しだし最後は爆発する
- 1.爆発して放出されたエネルギーはまた、星となったり宇宙の構成要素として再構成される



- 1.ネガティブ感情でエネルギーを使い
- 1.質量を失いながら熱を放射
- 1.リリースをかけるとエネルギーが一気に放出されるので、ことが急速に進み一気に爆発する
- 1.爆発して放出されたエネルギーはまた、新たな感情・信念として再構成される（その人やセラピストの想いに導かれて）

特別演習：第3の手を作る



- 片手でリリースできるととても便利。それを利用して、リリース部位をモニターすることができる
- つまり新しい観測ができる
- 観測は新しい現実を作り出すことを知っていればこの意味の大きさに気づくだろう！
- 第3の手のイメージはジョジョのスタンドを用いると分かりやすいかもしれない

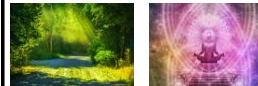
特別演習：リリースの瞬間からずっと観測を続けるとどうなっているのか？



- 一指し指一本で体のブラックホールを観測したまま、第三の手を使い信念もきめてリリース
- すると、リリースが生じた直後にエネルギーの放出が加速され一気に収縮に向かう（指が沈み込んでいく）
- そして、リリース（静かな爆発）が生じる
- その後、混沌とした状態（うねうね動き）が続くが観測を続けることにより、秩序がもたらされ新たな組織へと細胞は自己組織化をはじめる
- これらの過程はまるでビックバンのおとの宇宙創生の縮図をみているようである

神とセラピスト

神 潜在意識 高次元の存在



- これらは、結局言い方が違うだけで、自分の理解を遥かに超えた力のことを言っている
- そういう意味では自分の潜在意識もまた神である
- 少なくとも、自分よりはるかに知識をもっている未知なる存在があることに違いはない
- それをなんと呼ぶのかは自由である
- 神はいつもあなたの心のなかにとはよく言ったものである。

神はなぜ高いところに存在しているのか？



「この（天界の）下にもないわー！
とりあえず暇だし鳥でも作ってみようか！」

- 山の上や雲の上など、神は高いところから地上をみている
- つまり観測しているのだ！神が観測することにより世界が作られた！
- そして、今は地球に生きる生命の観測により、世界がつくられている
- つまり、観測者が神であるならば、私達もまた神である
- 人はなりたくない自分になれるし、どんな人生も歩むことができる実はずいぶん無限の可能性を秘めているのだ！！

クライアントにとってセラピストは観測者である



- であるならば、クライアントからすればセラピストは神である
- だからこそ、セラピスト自身の心が癒されニュートラルである必要がある！
- この概念は傲慢になって欲しいから伝えているのではなく、セラピストとして無限の可能性を開くために伝えしているということは忘れないでください

コラム：日常で起きているセラピスト神現象



Aさん：右が硬いです Bさん：左が硬いです Cさん：左右差ありません！
量子的に言えばみんな正しいです（笑）

- ・筋緊張やアライメントなど、ひとによって硬さや高さが違うということを経験したことはないだろうか？
- ・あれは実際に個人々人でそういう世界を作り出して現実としているいい例である（やはり多次元なんだろう）
- ・人のアライメントや筋緊張を思いだけで変えているのだからすごいなーと思います
- ・そして、先生に会うと元気になりますというのも、すごいことだなと思う訳です！

神は思ったように世界をつくる



「ここに俺が住む立派な家が欲しいなー」



セラピストが大丈夫かな・・・良くならないかも・・・と思っている（観測している）からそういう世界が作られる。なんとかなる！これでよくなるだろう！と思っていればそういう世界が作られる。では、そう思う（自分に自信を持つ）ためにはどうしたらいいのだろうか？

自信は自身からくる 他信ではない！！



- ・究極において、自信を持つというのはその人の勝手である
- ・というより、他人にどんなに評価されたところでその自信は借り物であり、また次の自信が欲しくなりきりはしない
- ・だから、ヒプノセラピーの講座はセラピストにとって必須なのである
- ・セラピーに対するセラピストの心持ちの影響力は計り知れない
- ・神の心1つで天地が作られることを知ればその意味も分かるだろう

神に不可能はない 無限である

「暇だし寂しいから国でも作ってみようか」



「オオクニヌシちゃん大好きだからいきかえらせちゃお？」

- ・観測により現実が作られているのであれば、対象にとって観測者は神に等しい
- ・自分が神になったつもりで施術をしてみよう
- ・神に不可能はない
- ・不可能など存在しえないのだ！
- ・そこに存在するのは無限の可能性である

無限の施術：完全に両手を使わずにリリースをする



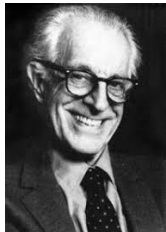
- ・一次呼吸でもいいし、筋緊張でもいいのでなにか両手でモニターしておく。MMTやROMをとっておいてもいい
- ・そのまま、ジョジョのスタンドを出すように自分の分身をイメージして出して、そのスタンドにリリースをしてもらおう
- ・その後にはピクパン現象が起こり身体全体が変化していくのを感じるだろう
- ・心の世界は無限なのだ。そして、心が先行し物質が後付けで来るのがこの世の理である
- ・だから、触れてようが触れてまいが、動作をしようがしまいが関係ない
- ・究極において思考が現実を作り出すのだ

コラム：重力の影響をなくす！無重力のリリース



- ・アインシュタインが自分自身の最大の発見と言っているのが、物が落下するときには重力の影響は受けていないということだ！
- ・自由落下の際は反対の力（慣性力）が働き、重力の影響は疑似的に相殺される
- ・これを施術に応用してみよう。つまり取り出した量子を落下させながらリリースする
- ・重力の制約から解放された量子はに今まで見られなかった効果が現れるかもしれない

神と思ってもいい！！だけどこれは忘れないで！



- 科学は絶対的に神聖なものでもないけれども、確かに大きな価値がある
- 目的や意図をもった時には、科学的な姿勢を保とうとするのがよい。
- つまり、仮説検証を繰り返し、社会的・物質的「現実」は暫定的に認め、人間そして人間以外の生物にとっての善を目的とすることである

無限の可能性を施術に求めて



これまでは、不可逆的な構造的変化を伴うものは治せないとおもっていました

事実そうでした。手も足もありません。

ですが、それは、私がそう思い込んでいたからだということにある日々였습니다

そうではなく、無限の可能性を信じることで少しずつですが、そういったものにも変化を出せるようになってきました

まだまだ、フィジカルエナジーセラピーは発展するでしょう

私がそう望んでいるし、この講座を受けてくれた方の思いがそこに加わるからです

想いを結集させた力は西洋の神でさえも恐れさせ、そして言葉が生まれました

多くの人と無限の可能性の旅と一緒にできることを願って

おまけ：すでに引き寄せていた無限の可能性



- 中学時代・・・およそ20数年前に好きになったバンド、XJapan
- リーダーであるYOSHIKIはよくこう言います
- Xとは無限次の可能性という意味！やってやれないことはない！
- すでにこのマインドを中学時代から持っていたことは、セラピストとして本当に幸せなことだと気づきました
- そして、潜在意識に刷り込まれた可能性は無限であるという思いが、今回のこの講座を作る事に繋がっていることに、とても感慨深いものを感じます
- 引き寄せも潜在意識も確かに存在するということを改めて確信した瞬間もあります
- 観測されたこの無限の世界はもう現実になるのはそう遠くないと信じています